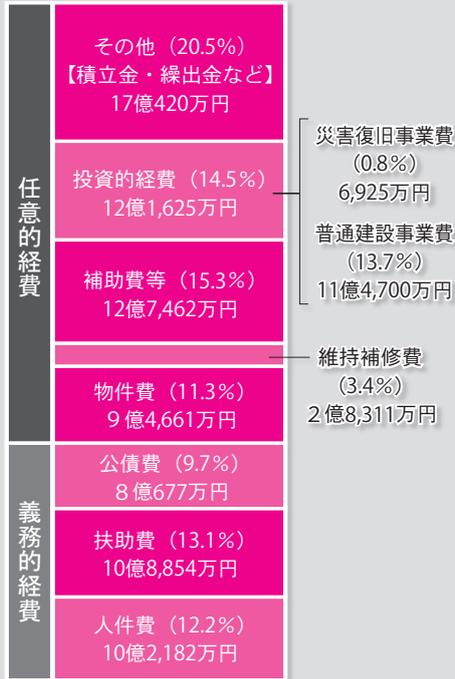


一般会計  
決算内訳

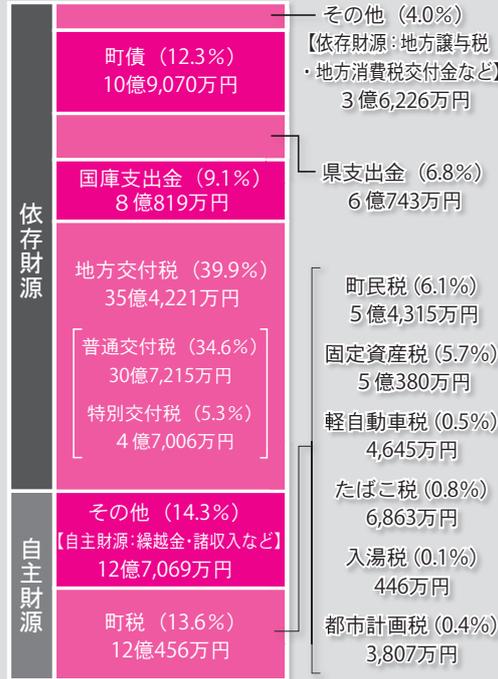
歳出総額

83億4,192万円



歳入総額

88億8,604万円



知ってほしい!!

# 町の財政状況

平成28年度  
決算報告

改修したソフトボール場



新入学生へランドセルを贈呈



平成28年度に実施した  
主な取り組み(抜粋)

平成 成28年度は、製造業を中心

に緩やかな回復基調にある経済情勢の中で、町民の皆様

の生活環境の向上を中心に考え、地方創生に向けた

各種の取り組みを加速させて、共創のまちづくり

による施策展開を確実に実施してきました。

一般会計における決算は、前年度に比べ歳

入総額で1666万円(0.2%)下回ったもの

の、歳出総額で2億3248万円(2.9%)上

回る結果となり、収支差引は5億4412万円と

なりました。

歳入については、町が自主的に収入すること

ができる町税などの自主財源は、税収入では

3738万円の増となったものの、財産売却収入

の減などにより、前年度に比べ約555万円の減

少となりました。また、国や県からの補助金や地

方交付税、地方譲与税、町債(借入金)などの依

存財源も、約1111万円の減少となりました。

歳出については、その性質別に見ると、支出が

義務づけられ任意に削減できない義務的経費は、

扶助費(住民福祉経費)が約2873万円、公債

費(借入金返済)が約3025万円の増加とな

りました。義務的経費以外の任意的経費では、普

通建設事業費(公共・公用施設の整備経費)が、

荒砥小学校大規模改修事業の増などにより約

7198万円の増、災害復旧事業費が、豪雨災害



の減などにより、前年度に比べ約555万円の減

少となりました。また、

国や県からの補助金や地

方交付税、地方譲与税、

町債(借入金)などの依

存財源も、約1111万

円の減少となりました。

歳出については、その

性質別に見ると、支出が

義務づけられ任意に削減

できない義務的経費は、

扶助費(住民福祉経費)

が約2873万円、公債

費(借入金返済)が約

3025万円の増加とな

りました。義務的経費以

外の任意的経費では、普

通建設事業費(公共・公

用施設の整備経費)が、

荒砥小学校大規模改修

事業の増などにより約

7198万円の増、災害

復旧事業費が、豪雨災害

復旧事業の減少により約